

先輩から学んだこと

8月5日、私はいつもより早起きし、支度を整えました。何故いつもより早起きかというとその日が待ちに待った東大見学会企業大学訪問であったからです。集合場所と時間は、仙台駅に6時30分。家から大分離れた場所で、ここまで早い時間に集合するのは初めてでした。しかし、私の住んでいる南光台では、一番早いバスが6時17分しかなく、それでは遅刻確定です。私は祖父に頼みこみ、仙台駅まで車で行くことにしました。

6時15分頃、私は仙台駅に到着しました。そこで祖父と別れ、私は集合場所へと向かいました。途中で、仙台駅内のコンビニで昼食を買いました。都内のコンビニはとても混んでおり、買う時間があまりないと聞いていたからです。そして、集合場所に着くとそこには既にほとんどの生徒達が集合していました。

6時30分、点呼を取り先生達から挨拶と説明を受けました。その後6時50分に私達は新幹線に乗り込みました。新幹線に乗るのは二度目で、やっぱり新幹線は快適だなと感じました。新幹線では友人と隣であり、お喋りしたり、トランプをしたりしていました。トランプは主に大富豪やババ抜きをしました。ババ抜きでは結構勝つことができました。大富豪ではほとんど大貧民でしたが…。

そうしているうちに私達は東京へと到着しました。東京は仙台とは比べものにならないほどに蒸し暑く、目眩を起こしかけたほどでした。私達は訪問先である三菱商事へと足を進めました。とても立派なビルが立ち並ぶ中、一際立派なビルがあり、それが三菱商事の本社でした。会議室へと通され、私達は三菱について学んだり、三菱の社員の方々とディスカッションをしました。三菱の社員の方々のお話はとても興味深く、ためになりました。その後、私は班員達と電車に乗って国土交通省に向かいました。国土交通省に行く途中で国会議事堂が見え、本物が見れたことにとっても興奮しました。国会議事堂は写真で何度か見たことがありましたが、本物が見れてとても嬉しかったです。国土交通省に着くと、職員さんに案内されて中に入りました。建物はかなり古かったのですが、広く立派で、エレベーターがたくさんありました。職員さん曰く、朝は人の出入りが多く、むしろ足りなくらいだそうです。私達は約束の時間より早く来たので、その時間になるまで、国土交通省について分かりやすくまとめたビデオを見ていました。ビデオは意外と面白かったです。そして約束の時間になると職員の方が国土交通省のしている仕事や計画についてパワーポイントを用いて説明してくれました。正直に言うと、私は最初財務省を希望していて、国土交通省のことはあまり詳しく知りませんでした。しかし、その話を聞いて、国土交通省は国を支えるのにとっても大事な機関なんだと感じました。外国人観光客を増やすことは国の財政に繋がりますし、道路や公共施設を作ることはもちろん、天気予報を知ることだって私達にはとても大切なことです。それらを全て担っている国土交通省の仕事量には驚嘆するしかありません。その後私達は地下に案内されました。国土交通省には免震工事が施されていて、それを見るためです。免震工事は建物を崩すことなく行われており、2年間かけて完成したそうです。通常通り仕事が出来る様に配慮しつつ工事した作業員の方々のテクニックに尊敬しました。免震装置は1ピース欠けたミルフィーユの様なもので柱の上部に付いていました。以前の柱は大雑把に真っ二つにされていて何となく笑えました。ここでも職員の方々の説明が丁寧で、私達の質問にも答えて下さいました。最後に記念撮影をし、私達の企業訪問は終了しました。

5時頃、私達は遅めの昼食を食べた後、ホテルへと到着しました。ホテルはとても綺麗で部屋も結構広かったです。荷物を整理し、先輩と友達と一緒に会場へ行くと既にほとんどの人達が会場にいました。夕食はテーブルごとに用意されていて、多くの種類の料理がありました。全てとても美味しかったです。さらにデザートも出てきて大満足でした。昼食を遅めに食べていたので、あまり食べられなかったことが心残りですが。

夕食が終わり、少し経った後、ホテルでのメインイベントであるOB懇談会が始まりました。懇談会にはOBの方々がたくさん参加されていました。殆どの方が東大生でしたが、他の優秀な大学の方もいました。自己紹介

を聞き、目の前にいる人達がどれだけ凄い人達なのか実感しました。そして、懇談会が始まり、私は3人の方とお話ししました。

1人目は東大の文学科の方で、私達が質問するよう促し、その質問にスラスラと答えてくれました。私はまず東大を志した理由を聞きました。先生に東大を勧められたことがきっかけだったそうです。勧められた時は東大は高いハードルだったそうですが、先生が強く「行けるよ！」と仰ったおかげでスイッチが入り、一生懸命勉強したそうです。成績はどんどん上がっていった結果的に東大に入ることが出来たそうです。

「ゴールは少しくらい遠い方がいい。」

先輩はそう私達に言ってくれました。その言葉にはとても心が動かされました。確かに簡単に手が届く目標だったら人はそこまで頑張ることは出来ないでしょう。だからこそ目標を高く持つことに意味があるのです。しかし、高すぎてもつまづいてしまったり、途中で諦めてしまったりしてしまいます。少し高い目標なら叶えられるかもしれない、そんな気持ちが大事なのかもしれません。私も、少しハードルの高い目標を作って励みたいと思いました。他にも同じテーブルにいた人達が次々に質問をしていきました。苦手な教科、嫌いな教科は何ですかという質問がありました。先輩は苦手な教科は数学と答えました。しかし、好きではあったそうです。嫌いな教科は声が小さい先生の教科と答えていました。聞き取り辛いと授業にあまり集中することが出来なかったからだそうです。次に部活と勉強の両立はどうしていたのかという質問をしました。先輩はあえて大会前に勉強すること、そして部活仲間と競い合うことと答えました。大会前は部活の時間が長くなり、勉強出来る時間が短くなってしまいます。だからこそ、その短い時間で効率よく勉強するようになり、結果的に通常より勉強が捗ったそうです。これは普通の人からすると結構難しそうだと感じました。でも、それが実現できたらかなり成果はありそうだなとも思いました。部活仲間と競いあうというのは、文字の通りテストの結果を競ってお互いに切磋琢磨していくことだそうです。部活仲間ということは勉強に使える時間は大体同じはずです。それなら比べやすいし、闘争心も湧きやすい、ということなのでしょう。私もたまに部活仲間からテストの話の話を聞いたりします。その度に両立できていて凄いなと思わされていました。私もその方法に倣って切磋琢磨していきたいです。その他にも沢山質問して様々なことを教えて頂きました。

2人目の方も東大生で、働くのはお金の為と言う人は凄い人だと言うことを語ってくれました。私も働くのはお金の為だと考えているタイプで、それを人に言うと若干引かれていたのですが、その話を聞いて少し嬉しくなりました。そして、浪人した時いくらかかるかを聞き、青ざめました。

3人目の方は東京医科歯科大学の方で、医科歯科大学がどんな大学かを教えてくれました。医療系の仕事を目指していない私は医科歯科大学の名前すら知らなかったのですが、話を聞いて、いい意味でとんでもない学校なのだと知りました。医科歯科大学は唯一学生が手術経験を得られる学校なのだそうです。そして1日に来る患者数は日本で1番多いそうです。正に医療のエキスパートなのだと感じさせられました。そこで勉強している先輩はとても凄い人何だとも思いました。

そして懇談会は終わり、私達は部屋に戻りました。シャワーを浴び、明日のことを考えながら眠りにつきました。

次の日、私はまた慣れない早起きをして支度を済ませた後、朝食に向かいました。朝食もとても美味しかったです。その後部屋に戻り、荷物を持ってホテルを出発しました。

電車を乗り継ぎ、私達は東大に着きました。東大は想像以上に立派で日本一に相応しい感じでした。赤門で友達と写真を撮った後、その友達と先輩の3人で法学科の模擬講義を受けました。その後、私は先輩と経済学部の模擬講義も受けました。両方とも流石東大と言った感じで、分かりやすく、興味をそそられる講義でした。そして、私達は集合場所に行き、東大を去りました。

駅に着き、1時間程度買い物をした後、私達は新幹線に乗り込みました。とても充実した、あっという間の2日間でした。来れて本当に良かったと感じました。この2日間で学んだことをこれからの学校生活に活かせるよう頑張りたいです。